



2012.11.11 七五三

## 主の来臨

助任司祭アントニー

「主の来臨」を待ち望む典礼季節が待降節ということは皆さんもご存知の通りです。そこで「主の来臨」は何をさしているのでしょうか。主のご誕生でしょうか。あるいは主の再臨なのでしょうか。あるいはほかのことなのでしょうか。

実は、偉大なる聖人聖ペルナルド修道院長によると、「主の来臨」は三つあるということです。すなわち、第一の来臨は主のご誕生であり、その時主は赤ん坊として地上に姿をお見せになりました。そして、第二の来臨は終わりの日の主の再臨であり、その時主は王として権能と栄光を帯びて雲に乗って再び地上にこられるのです。この二つの来臨ははっきり見えるものでありますが、第三の来臨は隠されておき、目に見えないものというのです。

そして皆さんもご存知のように、主キリストは第一の来臨の時、わたしたちを罪からあがなういけにえの小羊とされましたが、最後の来臨の時、主キリストはわたしたちを復活させ、永遠のいのちを与えるために現れることとなります。聖なる修道院長はこの第一の来臨から最後の来臨までの間を結ぶ道のようなものを第三の来臨、もしくは中間の来臨と呼んでいたのです。この中間の来臨において、主キリストはわたしたちの憩い、慰めとなられるということです。

祈りの時、善い業を行う時、秘跡を受ける時、そして何よりご聖体を頂く時、わたしたちは主の来臨を体験するのです。これらの体験はわたしたちを主の栄光へと導いてくれる大切な恵みなのです。

「マラナ・タ。主よ、来てください」を心から叫びながら、主の来臨を待ち望もうではありませんか。

### 平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

### 主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(at the Maria Kan Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

司祭団より

クリスマスミサ案内新聞折り込み

「ようこそ南山教会へ」の印刷物が残り2百部ほどになつたので、内容を更新したうえで印刷依頼する。先回5千部作製で10万円ほどかかっていたが、業者を変えて3万円程度で済みそう。訂正があれば12月9日までに知らせてほしい。

報告事項

救急法講習会

11月18日に実施した。34名の申し込みが当日参加もあり45名の出席で活発な講習会となった。4、5名ひと組で救急法やAED操作の指導を受けた。来年も行ってほしいという声もあった

信仰年取り組みの掲示板掲示当番

当番表の発表を行った。1月はヨセフ会、2月はマリア会。信仰年終了の11月まで当番で行う。

教会外の方をお誘いする内容で、前月第3日曜日までに主任司祭の承認を受けること。

小聖堂付属納骨室建設委員会より

近隣住民への承諾書取り付け作業を11月から行っているが不在者が多く時間がかかっている。

対象37軒のうち現在までに同意取り付けは14軒。管理委員会規約

作成にも取り掛かっている。規定・募集要項・申込書案は12月8日の建設委員会で検討される。司教様を囲む新年の集い

14時から司教ミサ。その中で新人祝福式がある。16時からティーパーティー。

大勢の参加を募ります。営繕委員会より

マリア館屋上通路タイルの目地に充填剤注入。その後雨漏りは発生していない。目地は通常10数年で劣化し亀裂が入る。マリア館全体の補修を来年度どのように対応するか検討中。

カトリック教会館外側階段修理について。2万円程度の材料費で修理可能なのでここ1、2週間で行いたい。(外注だと13万円かかる。)

マリア館階段の照明スイッチが分かりにくく暗いと危険との指摘があった。パイロットランプのあるスイッチに変えるなど早急に対応する。

名古屋いのちの電話

司教様が理事長をお辞めになるとの報告があった。

審議事項

教会バザーの収益金配分

収益金の分配原案や備蓄品購入への割当て等の提案があった。災害備蓄品への対策が3年で30

万ほどかかるので、今年10万円を準備金に充てることを決定した。残りの収益金を前年度になら対象団体に比例配分して献金することを全員で同意した。

仮設ブルーシート設置費用が毎年かかるので、営繕委員会で恒常的支柱設置など抜本的な対応を検討することを承認した。

バザーの反省についてマリア会から文書で出していただき次回への参考にした。

クリスマスミサ・パーティー 年末年始ミサの確認

22・23日共同回心式のために告解台4脚を16日9時半ミサ後に聖堂2階から降ろして準備する。同様にクリスマスツリーは9日9時半ミサ後にセットする。

ともにヨセフ会が主に奉仕するが、信徒皆様の協力を願いたい。

24日の20時以外のミサのヨセフ会の案内当番は、16時ミサを含め当番割り当ては済んでいる。

25日10時・19時ミサ案内当番は未定のため今後ヨセフ会で段取りする。

23日9時半ミサ後と24日16時ミサ後に、教会学校のこともたちによるクリスマス劇を聖堂で行う予定。

パーティーの持ち寄りのうち飲み物はセカンドハーベストから寄付をいただくことになった。

パーティーボランティア募集の案内に一部間違いがあったので、次週のしおりにもう一度挟み込むことになった。

年末・年始ミサの案内担当は集まった方で対応する。

2013年度各会予算案 予算案について

来年1月半ばに管区へ提出の関係上、12月末までに提出いただくよう財務委員長から各会へ要請があった。

小聖堂付属納骨室建設委員会・管理委員会のメンバー募集

計画から実行段階へ移るのに伴い、事務処理が煩雑になるため新しい納骨堂管理委員会メンバーが必要になる。簿記会計に長けている方が望ましい。信徒の中から広く募りたい。

AED設置

来年度予算で行うことを確認した。

各会報告

マリア会

11月9日 神父様と会員54名にて半田教会巡礼とINAXミュージアムへ行って来た。

典礼委員会

11月4日 9時半のミサで、死者

の月を記念し南山教会の亡くなられた信徒と先祖のために祈った。

11月11日 典札委員会、七五三の祝福

11月25日 天使ミサ・入門式

12月22・23日 共同回心式

12月24日 降誕祭 夜半ミサ

16時、20時、24時

12月25日 降誕祭 日中ミサ

10時、19時

12月31日 感謝ミサ 23時

1月1日 新年ミサ 10時

**信徒協**

11月24日に白浜神父様による講演会を行った。80名の参加があった。

**広報委員会**

11月4日 札幌市真駒内教会にて「ローマから届いた小さな宝物展(ミニバチカン展)開催。

**教会学校**

11月11日 七五三パーティーを9時半ミサ後に行った。

11月18日 12月に行う聖劇のための練習を始めた。

12月9日 聖霊病院に入院されている方々へクリスマスカードをもって訪問予定。

12月16日 マリア館ホールにて子どもたちの聖劇の予定。

**青年会**

12月9日 ニコ司祭と共に馬小屋を製作する。

12月16日 17時よりマリア館2階で青年会忘年会開催。

12月15日 教区のキリスト教一致

勉強会にメンバーで参加予定。

**ボーイスカウト**

12月16日 13時〜マリア館ホールでクリスマス会を行う。

12月24日 20時クリスマスミサの駐車場整理の手伝いを行う。

1月13日 新春もちつき大会開催を計画しているのは是非参加ください。

1月25〜27日 岐阜県朴の木平高原で1泊半でスキー訓練合宿を予定。

次回は1月6日

12月16日ミサ後の各会紹介はボーイスカウト



救急法講習会 (11月18日)

寄付先	2011年	2012年	対2011係数	2012年調整後金額
ダルク	100000	75600	0.756	¥76,000
いのちの電話	50000	37800		¥38,000
福信館	50000	37800		¥38,000
社会福祉委員会	30000	22680		¥23,000
車イスセンター	30000	22680		¥23,000
AJU自立の家	60000	45360		¥45,000
障害者の集い	30000	22680		¥23,000
名古屋マック	40000	30240		¥30,000
ヴェトナム・ストリートチルドレン	30000	22680		¥23,000
ロス点字図書館(ブドウの木)	20000	15120		¥15,000
ゲマインダーハウス	50000	37800		¥38,000
カリック障害者連絡会を支える会	30000	22680		¥23,000
名古屋教区障害者連絡会	60000	45360		¥45,000
RASAの会	75000	56700		¥57,000
聖霊ホスピス	100000	75600		¥76,000
寄付金合計	755000	570780		¥573,000
災害対策金	20641	102484		¥100,264
シート設置費用		63000		¥63,000
寄付金+対策金+設置費用合計	775641	736264		¥736,264
収益金合計	775641	736264		¥736,264



B・ノヴァク神父

### 3 「主は聖霊によってやどり、おとめマリヤから生まれ(た)。」

イエス・キリストがマリヤの胎内に懐妊されたことは、聖三位の二者である御子が人間になった神秘、つまり、父である神と同じ神性を所有しておられる御子が人間性をとられた神秘なのです。イエス・キリストがマリヤの胎内で神ご自身である聖霊によって宿られたとは、マリヤの生みの子であるイエスには、父である神以外に父親がないという意味です。「みことばは肉となられた」(ヨハ1・14)という福音記者聖ヨハネの言葉に基づいて、この神秘は、「受肉」と呼ばれています。御子の受肉について考えるときに、勘違いをしないように気を付けなければならぬところがあります。それは何かというと、御子は人間性をとられて、

有限の人間になったことによって、神性を失って、無限の神ではなくなったのではないということなのです。御子は、神性を失うことなく、人性を担われたのです。と同時に、御子は人間性を受けて、それを神聖なものにされたとか、また、他の方法によって、一般の人間が所有している人間性よりも優れたものにしたがって、御子はマリヤの胎内に宿られたときから、真の神でありながら、真の人間です。御子とイエス・キリストは、同じペルソナ、同一の方です。イエス・キリストは理性的魂と肉体とから成る真の人間であると同時に、真の神である、人間性において、罪を除いて(ヘブ4・15) 私たちと同一実体であるとともに、神性において神である父と同一実体であるということなのです。「第5番目の公会議である553年のコンスタンチノーブル会議は、『聖三位の二者であるわたしたちの主イエス・キリストには唯

一の自立存在(またはペルソナ)だけが存在する』と宣言しました。したがって、キリストの人性におけるすべては、単に奇跡にとどまらず、苦しみも、死さえも、その固有の主体である神的ペルソナに帰すべきです。「肉において十字架につけられたかた、すなわち、わたしたちの主イエス・キリストは、真の神、栄光の主、聖三位の二者です」。(カトリック教会のカテキズム468)

イエス・キリストにおいて神性と人間性がどのように結び合っているかということは、神秘的ですので、最終的に完全な理解は不可能ですが、受肉の目的、また、イエス・キリストご自身のことを理解するために、その関係について教会が教える幾つかのことを意識する必要があります。

御子は、受肉の神秘的な結合において取り上げられた人間性を消滅しませんでしたので、キリストの知性と意志の働き、また、肉体的肉体のまぎれもない現実を認めざるを得ないので

す。したがって、「神の御子が担われたこの人間的魂は、真の人間としての知識を備えています。人間的なものであるこの知識には限界があり、時空の中で存在するものとして、具体的状況に従って機能しました。このため、神の御子は人間となつて、「知恵が増し、背丈も伸び、神と人々とに愛され」(ルカ2・52)ることを受け入れたばかりか、人間である以上、経験によって学ぶべきことを尋ねたりしなければならぬという人間の条件に従いました。」

(カトリック教会のカテキズム472) 同時に、イエス・キリストは、みことばと一つになっていたわけですので、神にふさわしいことを知ること、特に啓示しなければならなかった父である神ご自身のことや、神の救いの計画を知ることと、それを表わすこともできたのです。

神性と人間性という二つの本性を所有していたイエス・キリストは、「本性上二つの意志と二つの働き、すなわち、神としての本性としての本性にによるそれぞれの意志と働きを

盲導犬募金  
ビーバー・カブちゃん大活躍

伊藤 宗太郎

持っていますが、いうまでもなく、二つの意志と働きは協調して、対立することはありませぬ。したがって、人となられたみことばは、わたしたちの救いのために御父と聖霊とともに神として決定されたすべてのことを、御父への従順から人間としての意志によって受け入れられたのです。キリストの人間としての意志は「神としての意志に従い、抵抗も反対もせず、かえって、この全能の意志に従属しています」。(カトリック教会のカテキズム475)

イエス・キリストの体は、真の人間の体です。それには限界があります。イエスは、私たちと同じように、疲れることや苦しむことがあつたし、できないこともありました。また、年を取るにつれて、体力が衰え、いつか死ななければならなかったのです。同時に、「教会は、イエスの肉体において「本来見えないかたである神がわたしたちの目に見えるものとなられた」ことをつねに認めてきました。キリストの肉体の個人的特徴は神の御子の神的ペルソナ

を表しています。神の御子はご自分の人間としてのからだの特徵をまったくわがものとされたので、聖画像に表されたそれを崇敬の対象とすることができません。神の御子の聖画像を崇敬する信者は、『それに表現されているかたを崇敬している』(カトリック教会のカテキズム477)

ニケア・コンスタンチノープル信条に従って、私たちが宣言している通りに、御子が人間に「私たち人類のため、また、私たちの救いのため」なのです。人間を救うためには、罪によって神から離れていながら、自分の力だけでは戻ることができない人間を神と和解させることです。この意味での救いを実現するためにイエスは、神の愛を現すことによって私たちを神のもとへと引き寄せています。それから、ご自分の生き方によって、神への道、つまり神の意志に適合するために、神との一致に導く愛に根差す生き方の模範を示してくださいました。神の御独り子は、受肉によってご自分において神性と人間性を結

びましたが、ご自分の十字架上の完全な愛のいけにえによってこの結合を完成させ、永遠に切れることのないものにしてくださいました。そのためこそ、私たちは、イエス・キリストと結ばれることによって、神ご自身と結ばれることができるようになっていきます。最終的に、教会がカテキズムで教えている通りに、「みことばが人とならねたのは、わたしたちを『神の本性にあずからせる』(二ペトロ1・4)ためです。『みことばが人とならね、神の御子が人の子となられたのは、人がみことばに結合することで神と親子の縁を結び、神の子となるため』(聖イレネオ)であり、『神の子が人となられたのは、わたしたちを神とするためなのです』(聖アタナシオ)。『神のひとり子は、わたしたちがご自分の神性にあずかることを望み、わたしたちの本性を受け入れて人となり、人間が神となるようになさいました。』(聖トマス・アクイナス)」(カトリック教会のカテキズム460)

(つづく)

去る10月14日ボーイ97団では小さいカブちゃんやビーバーちゃん達十数名を引き連れて、例年恒例の盲導犬募金を行った。凛々しいスカウトの制服姿で東別院前の広場に陣取って、「盲導犬募金に協力して下さい！」と可愛い声を張り上げた。道行く人々は小さな子ども達がいじらしい姿に目を細めて、喜んで募金箱にお金を入れて頂いた。お陰さまで、一時間余で一万二千余円ほどが集まった。やはりスカウトの制服姿は募金効果に絶大で、「眼となれ愛の盲導犬募金」に感謝！

募金の帰り道には、子ども達は栄のセントラルパークで開催されていた「動物ふれあい広場」に参加。可愛い犬、猫、ウサギ、山羊達に手で触れ、キャツキャツと喜んでいたら、最後には、折り紙で犬を折り、お土産に持って帰って来た。オモシロカッタね！

## 中高生会秋の行事

梅村祥子

中高生会は11月11日(日)に、アントニー神父様の指導による「手作りうどん」に挑戦しました。

11人の参加がありました。強力粉と水とみんなの手で、太め、細め、堅め、柔らかめとさまざまに麺ができあがりました。保護者の方が準備してくださったうどん汁でおいしくいただきました後、ボーリングに行きました。

以下はみんなの感想です。  
「粉から練り、伸ばし、細く切



り、茹でると全ての工程を経験でき、皆で食べたおうどんの美味しさは格別でした。」

「手作り感が素晴らしかった。自分たちで作ったうどんの味は格別だった。」

「思ったより作るのがむずかしかったけれど、がんばったおかげでおいしく食べられた。」

大地の実に人間が手を加えることな美味いものができることを体験できたことに感謝。

## ボーイスカウトの新春餅つき大会

日時 2013年1月13日 (日)

午前10時～お昼まで

場所 南山教会 中庭

餡ころ餅 キナ粉餅 雑煮など  
食べ放題

どなたでも参加できます

餅つきの実演も参加して下さい

主催

ボーイスカウト名古屋97団



11月4日

カトリック真駒内教会にて

## ローマから届いた小さな宝物展 (ミニ・バチカン展)



前教皇様の伝記を読んでみようと思えます。ありがとうございます。 Kさん

本当に見ごたえがあり、素晴らしかった。 Tさん

ヨハネ・パウロ二世はとても身近な存在に感じられるパパ様でした。何故でしょうか、涙がこみ上げて来る感動を覚ええました。その優しさ暖かさに触れることができました。 Iさん

あらためてヨハネ・パウロ二世の偉大さを知りました。 Sさん

感動しました。改めてカトリック信者として生きさせていただけの幸せを思い感謝します。 Aさん

来日なされた時は遠くからお会いしましたが、今日は身近に、直接お会いした感じがいたしました。もう一度、ヨハネ・パウロ二世



# 南山句会

平成二十四年十一月七日



減反に築紫野広し秋桜

名月を仰ぎ心の澄み渡る

冬立つやヨハネ福音こゑにして

故郷のれんげ夢見て種を蒔く

あの音色シヨパンの調べ秋の宵

ひよどりの声の零るる桂の木

ボヘミアのグラスの上に秋光る

愛を説く若き司祭や冬薔薇

老いぬればほどほどが良し秋の空

洋子      とく子      義子      美智子      紀子      佑子      瑞子      せつ子      牧子

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館二階集会室

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

マリア      TRAN MON DIEM

### 結婚

♡ お幸せに ♡

橋詰令太郎 ♡ 小さき花のテレビア内山優子

### 転出

いつまでもお元気で

テレビア      福本邦江      (片瀬教会)

### 帰天

ご冥福をお祈り致します

ヨハネ      水野健資      (86歳)  
マリア      松原ハツ      (95歳)  
マリア      大沼満理奈      (46歳)  
マリア・セリア      加藤妙子      (93歳)

### 教会維持費

11月は1.040.000円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りいたします。

## 2012年12月・2013年1月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	2(日)待降節第一主日 8(土)無原罪の聖マリア 25(火)主の降誕 30(日)聖家族	6(木)ニコ師霊名の祝日 22・23(土日)共同回心式 24(月)主の降誕の前夜ミサ 日英合同ミサ(20:00) 21:30クリスマスパーティ 25(火)主の降誕ミサ 31(月)23:00旧年感謝ミサ・新年の祝福	2(日)運営委員会 7(金)マリア会例会(懇談会) 9(日)典礼委員会 9(日)ヨセフ会班長会 15(土)要約筆記付きミサ 16(日)ボーイスカウトクリスマス会 16(日)教会学校クリスマス会 22(土)子ども部屋クリスマス会	2(日)宣教地司祭育成の日(献金) 6(木)司祭協議会
1月	1(火)神の母聖マリア・世界平和祈願日 6(日)主の公現 14(月)主の洗礼	1(火)10:00新年平和ミサ・成人式 (日)管区に予算書提出 20(日)子供のミサ	6(日)運営委員会 6(日)教会学校・中高生会始業式 13(日)典礼委員会 13(日)新春餅つき大会(ボーイ) 18(金)マリア会新年会 19(土)10:30子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ (日)ヨセフ会新年会 (日)ヨセフ会班長会	1(日)世界平和の日 17(木)司祭協議会 18(金)～25(日)キリスト教一致祈祷週間 20(日)信徒協「司教を囲む新年の集い」 27(日)児童福祉の日 特別献金



# 南山教会 クリスマスミサのご案内

## クリスマスイヴの夜

12月24日(月) 16:00; 20:00; 24:00

## クリスマス当日

12月25日(火) 10:00; 19:00

## 年末年始ミサ時間

感謝ミサ: 12月31日(月) 23:00

ミサ後聖体礼拝と祝福

新年ミサ: 1月 1日(火) 10:00

どなたでも、ミサに参加することができますので、  
多くの皆様の御参加をお待ちしています。